



雨竜町ゼロカーボンシティ宣言について

近年、地球温暖化による気候変動は、世界的に深刻な自然災害をもたらし、国内をはじめ道内においてもこれまでに経験したことのない猛暑や集中豪雨、猛吹雪などが頻発し、私たちの生命や暮らしが脅かされる中で、地球規模の温暖化への対応が急務となっています。

国際的には、世界の平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5℃までに抑えることが広く共有され、そのためには2050年までに世界全体の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることが求められており、我が国においても脱炭素社会の実現に向けて、2050年までにカーボンニュートラル(温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること)を目指すこととしています。

本町においては、これまでに公共施設の照明や街路灯、防犯灯のLED化や、事務経費の削減などに取り組んでいますが、地球環境をより良くする課題に対し、町民、事業者、町が力を合わせ、一丸となって2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとするゼロカーボンシティの実現を目指すことをここに宣言します。

令和5年(2023年)3月2日

雨竜町長 西野尚志

